

たらコストは安いので
す。私たちは早くそれ
を準備すべきです。

市民が変われば地域が
変わる。

地域が変われば国が
変わる。

国が変われば世界が
変わる。

地球のことを考え、地
域で行動しよう。

未来のことを考え、今、
行動しよう。

「教育基本条例案」反対
宣伝行動に参加しましょう！

9月30日(金) 6時

6時30分 岡町駅

10月6日(木) 6時

6時30分 豊中駅

16日(日) 23日(土) 庄内

駅でも宣伝を行いました。

原水禁世界大会に参加して

熊野田小分会 朝輝 千明

原水禁大会に、初めて参
加しました。その中でも一
番印象に残ったのは、佐世
保にある米軍基地の見学で
した。

まず、驚いたことは『今
にも戦争が始められる』と
いうことです。

米軍や自衛隊の施設の多
さ、今でも、大規模な施設
を新しく造っていること、
基地周辺の緊迫した雰囲気。

どれをとっても、国の防
衛ではなく、新しく始める
戦争の準備をしているよう
でした。

私は、東南アジアやヨー
ロッパに行った友人から
「日本は平和やで。」とよ
く聞きますが、そんなのほ
んどしたことを言ってい

る自分は何も知らなかった
んだと思い、怖くなりました。
た。

自分から知ろうとしない
と、こんな大切なことを知
らずに暮らしてしまう。一
番怖いのは、日本には私の
ように知らない人が多すぎ
ることで、今回の大会をきつ
かけに学んでいきたいと思
います。

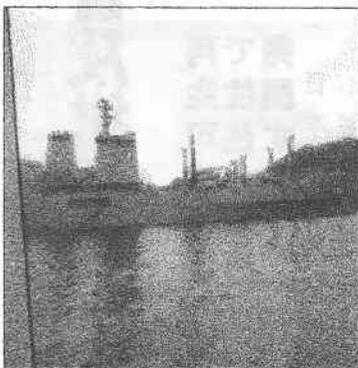
次に疑問に思ったのは、
米軍の維持・拡大に日本の
税金が多額に使われている
ことです。

(ある程度は仕方ないの
かな・・・)と今までは思っ
ていましたが、何千億円が
使われていると聞き、腹が
立ち、怒りに変わりました。
無知な私が聞いてもおか

しなことなのだから、政府
関係者がおかしいと思わな
いわけがない。それでも多
額の税金を投入しているの
には、私たち国民に公表し
ていない密約を終戦時に結
んでいるのでは・・・と疑
問に思いました。

国民の間では、日本があ
らゆる面でアメリカを追い
かけてはいますが、対等の
関係だと思っていました。
でも、政府レベルでみると
はつきり上下関係があるこ
とがわかりました。

これからは、問題意識を
持つて、自分の目で見、耳
で聞いて行動していきたい
と思います。



米軍 強襲揚陸艦エセックス

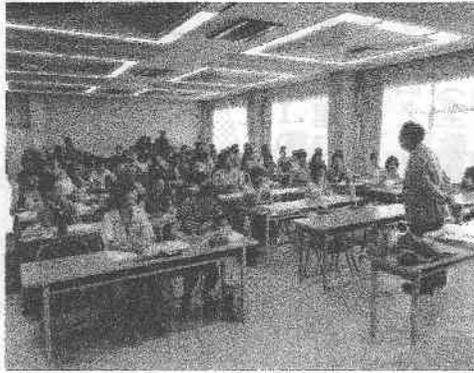
全教豊能ブロック 教育研究集会

8月27日土曜日、

福祉会館で、毎年恒例の教研集会を120名の参加者で開催。

オープニングは、

ドラえもんバンドとアンサンブル池田の演奏。震災ボランティア参加者の報告。



午後は5つの分科会と4つの実技講座に分かれて、たっぷり学びました。

記念講演は、大阪大学大学院教授小野田正利さん。

全ての保護者対応に必要な要素として、初期対応を大切に考え、具体例としては、まず『お茶を出す』、『ご心配をおかけして申し訳ありません。』と心理的事実を受け止める。客観的事実については「事実関係に

ついては調べた上でまたお話をさせていただけます。」経過だけでも早めに回答する。

保護者はともに子どもたちの豊かな成長を支えていくための最も重要なパートナーと考える。

担任等が一人で抱え込むのではなく、管理職や関係職員とともに、組織として対応する。

そのためにも、職場に必要な物は『丸いテーブル』。日頃から子どもたちの話や教



ツラツとがんばりたいと思います。」

(西丘小)

「70%の力で同僚と共同して、親をモンスターと思わず、親とも共同してやっていくことが必要。最後の『死なないで!』という言葉に現代の重みを感じ、じーんときました。」

(刀根山小)

など、たくさんのご感想をいただきました。

育について話ができるスペース・空気が職場には必要。定年まで元気に働き続けられるために…。

参加者からは

「教師の共同性のお話から、大切なことを学ばせていただきました。適度にグチをこぼしながら、ハ



連続教育講座「POWER UP講座」第8回

「総合的な学習」講座 平和教育

9月10日

福祉会館で、「今、大切な平和教育 事実・真実を学び・伝える」を、三輪浩一さん(全教豊中書記長)を講師に開催。

まず「3月10日」「8月6日、9日、15日」だけでなく、日本にとって忘れてはならない日として

「6月23日」「7月7日」「12月8日」「1月17日」「10月21日」いくつわかりますか？

教師自身が「ほんとうの

こと、事実・真実を知り、教える」「明治、大正、昭和の歴史について、教科書の枠をこえて、知ること」

の重要性について、3. 1以前に配布された副読本『わくわく原子力ランド』

や、向山洋一TOSSLランドに紹介された『原子力は本当にこわいのか？』実践報告の例を使って説明。

また、『豊中市は沖縄市と兄弟都市』『日本国憲法

前文』

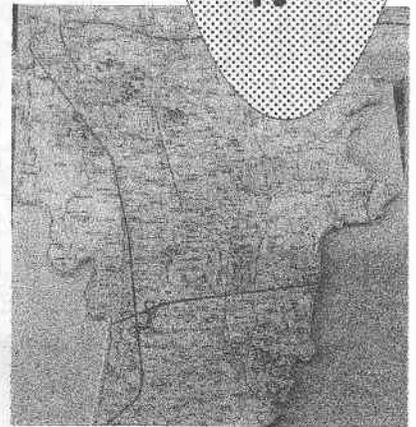
『豊中にあつた』等々、絵本・物語とともに、多くの資料も紹介。

参加者の感想

「平和教育について、全く無知だったので、すごく分りやすく学べたと思います。戦争のとらえ方を一つにもつではなく、自分で本を読んだりしたいと思います。」

(千成小)

「『侵略』が『進出』に、『虐殺』が『事件』に、時が経つにつれて言葉はかきかえられ、事実が隠されていくようなこわさを感じま



した。」(寺内小)

「戦争を体験の教師が、戦争や平和について子どもに何を考えさせ、伝えていくかは、本当に難しいことだと感じました。三輪先生の『多面的に物事を見る目が大切だ』というお話は共感できました」(宝塚第一小)

